



大谷中だより

自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ

夢のある
生き生きとした学校



令和7年10月 6号

〒337-0014 さいたま市見沼区大谷1634-2

TEL 048-685-6982

さわやか相談室(直通) 048-685-8272

ホームページ <https://oya-j.saitama-city.ed.jp>

再始動。それぞれの立場での取り組みを

校長 加藤 良夫

早いもので今年度も折り返しの時期となりました。ただ、例年ですと涼しさを感じる時ではありますが、いまだ夏のような日が続いており、秋と感じるのはまだ遠いように感じます。そのような中でも、学校では、様々なものが3年生から2年生へと引き継がれる時期でもあります。

まず、部活動では、陸上競技大会を皮切りに新人体育大会が開催されています。過日実施した壮行会では、各運動部の代表生徒が大会に向けての思いを話しました。挨拶の中で、大会結果を楽しみにしていますが、チームが一つにまとまり、それぞれが成長する場としての大会となること、壮行会の目的、自身の経験を踏まえて、選手、サポート担当のそれぞれの役割等交えて話をしました。

また、生徒会本部役員の選挙活動も始まりしました。1、2年生の立候補者が登校時間に合わせて行う選挙活動に、意気込みを感じました。今後の生徒会を担う立候補者に期待しています。

さらに、9月は、2年生を中心に地域の方々の方をお借りして、様々な取り組みを行いました。一つは、昨年度より、地域の事業所の方に体験活動やどのような仕事を行っているのか等、進路・キャリア教育の一助として「企業交流授業」を行っています。今年度は、多種多様な業種から10の事業所にご協力いただき、実際に使用しているもの等に触れさせていただけた事業所もありました。どの事業所も生徒に分かりやすい資料や説明をいただき、時間をかけてご準備をいただきました。生徒はいつも以上に真剣に取り組んでいたのが印象的でした。この経験を2学期末に実施する職場体験学習（未来くるワーク体験）に生かしてほしいと思います。

二つ目は、JFA こころのプロジェクト「夢教室」より、元プロサッカー選手川邊隆弥氏、総合格闘家 SARAMI 氏を講師に迎え、ご自身の目標に向かって取り組んできたこと、苦労や気持ちの持ち方等を話していただきました。生徒は、本校の教職員以外からの指導を受け、2年生は、中学校生活の折り返しを迎え、どのように学校生活を送っていくか、そして、学校の中心的な役割を果たし、自らの成長につなげていくための機会になったと考えています。

さて、3年生は、自分の進路を本格的に考える時期となりました。部活動や生徒会活動等は後輩に託し、これからは、中学校卒業後にどのようにありたいかを本人だけでなく、保護者とともに考えて取り組んでいくことになります。進路選択において、葛藤することもあるかと思います。一緒に考え、寄り添う教職員がいますので、独りで悩まずにぜひ相談してください。

そして、10月30日には「つぼみの日」があります。大谷中学校を知ってもらい不安を和らげることをねらいとしています。そのために、先輩として中学校生活を、小学生に見てもらう日でもあります。1年生は、今から1年前のことを覚えていますか。不安と期待で中学校に来たことと思います。先輩としての成長した姿を見せるとともに、4月に入学する後輩を温かく見守ってほしいと思います。10月は、それぞれの学年目標を改めて理解し、これからも全力で取り組む姿を見られることを期待しています。

最後に、保護者、地域の皆様方には、引き続きそれぞれのお立場で生徒を温かく見守っていただければと思います。また、地域の皆様におかれましては、今年度も行事や会合等にご案内をいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。